

4) 行政部門担当者 農林水産部水産振興課

振興係長 川崎一男

振興係 勝俣亜生

農林水産部漁政課

漁業調整係長 糸満盛健

漁業調整係 新城 博

5. 協力機関名

石垣市水産課

竹富町経済課

八重山漁業協同組合

6. 調査研究活動の目的及び方法

1) 目的

シャコガイ漁業の振興

2) 方法

①現状調査

現在の漁法、漁場、漁獲サイズ、漁家数、販路、加工等の状態について統計資料及び聞き取り調査を実施し、シャコガイ漁業の現状を明らかにする。

②標本船調査

シャコガイ漁業を営む漁業者に操業日誌の記入を依頼し、漁場、漁獲量、操業日数並に他の漁業との兼業状況等を把握する。

③栽培漁業導入の検討

栽培漁業導入の検討として、放流効果及び漁場回復調査を実施し、栽培漁業導入の検討をする。

④検討会

研究、普及、行政及び漁業現場の各部門からシャコガイの資源、生態、漁法等に関する既往の知見を整理し、今後のシャコガイ漁業の振興を図る上での問題点と対応策について総合的に検討する。

7. 調査研究活動の結果

調査研究活動の期間は昭和 58 年度～59 年度の 2 年間であり、今年度は初年度にあたるので、シャコガイ漁場の現状を明らかにするために①現状調査を中心に行なった。②標本船調査結果の一部も現状調査結果としてまとめた。④検討会についても今年度は現状の情報収集にとどめた。③については 59 年度に実施する予定である。

調査にあたっては石垣市の漁業者の漁場の大半が竹富町に存在し、漁業協同組合も石垣市と竹富町で 1 組合という事情にあるので竹富町も調査対象とした。